



## インフルエンザについて。



### 予防接種



#### ◆ 妊娠中でも大丈夫？

→妊娠週数に関係なく接種できます。

#### ◆ 赤ちゃんへの影響は？

→ワクチンによる先天代謝異常や胎児の奇形児リスク、流産のリスクなどの影響はないと報告されています。

#### ◆ 赤ちゃんへのメリットは？

→ママの体にできた抗体は胎盤を通して胎児にも移行することがわかっています。ママから抗体をもらっておくと心強いですね

### 薬のこと



#### ◆抗インフルエンザ薬◆

内服薬 タミフル(成分名:オセルタミビル)

吸入薬 イナビル(成分名:ラニナミビル)

リレンザ(成分名:ザナミビル)

注射薬 ラピアクタ(成分名:ペラミビル)



抗インフルエンザ薬を使用することで、熱のする期間を短縮できる可能性があります。

◆タミフルは母乳移行量を調べて非常に少なかったと報告されています。そのため母乳を通して赤ちゃんに影響が出る可能性はほとんどありません。

◆イナビル、リレンザ、ラピアクタの母乳を介した赤ちゃんへの薬剤曝露は現時点で認められておらず母乳育児との両立は問題ないとされています。

◆イナビル、リレンザは吸入で使われ、お母さんの血液の中へほとんど入らないとされているので母乳移行もほとんどありません。

抗インフルエンザ薬のほとんどが母乳移行が非常に少ないため授乳をやめる必要はありません。

### Q&A

◆妊婦がインフルエンザに罹った場合、どうすればよいでしょうか？

妊婦は重症化しやすいため、インフルエンザが疑わしいとされたらかかりつけの産婦人科へ電話をして対応を確認しましょう。

判断に迷いましたら、是非、医師・薬剤師にご相談ください！

